NIFS
KANOYA

令和7年度学生挑戦プロジェクト成果報告会

障がい者と健常者が一緒に楽しめる スポーツ・運動イベントの開催

スポーツ総合課程４年　岡知里

背景

色んなスポーツを一緒にしたい！

障がい者はいつどこで
運動・スポーツをしているのか？

✓障がい者は運動・スポーツ実施率が健常者より低い

✓障がい者がスポーツをするための施設は増加傾向

スポーツ庁 (令和５年度「障害児・者のスポーツライフに関する調査研究」)
笹川スポーツ財団「障がい者専用・優先スポーツ施設に関する研究2021」

障がい者が専用または優先的にスポーツを行うことのできる施設

鹿児島県：4施設

鹿屋市を含めた大隅半島には施設がない

笹川スポーツ財団「障がい者専用・優先スポーツ施設に関する研究2021」

障がい者が運動・スポーツを楽しむために…

鹿屋体育大学

社会福祉法人

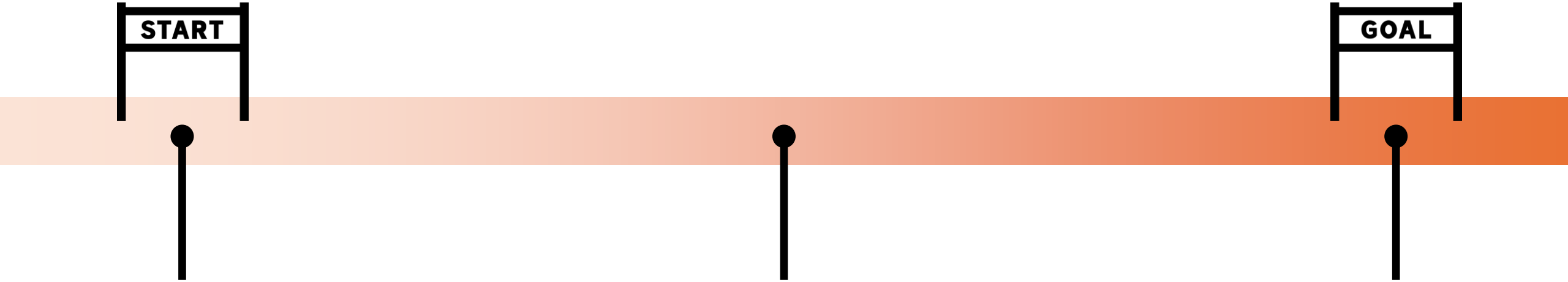
生涯スポーツを専門
広い土地を有する

障がい者の生活支援
障がい者について熟知

鹿屋体育大学が様々な人同士の交流の場に

内容

最終目標：鹿屋体育大学が様々な人同士の交流の場になること



イベントの安全性

・鹿屋市民の需要
・会場の安全性

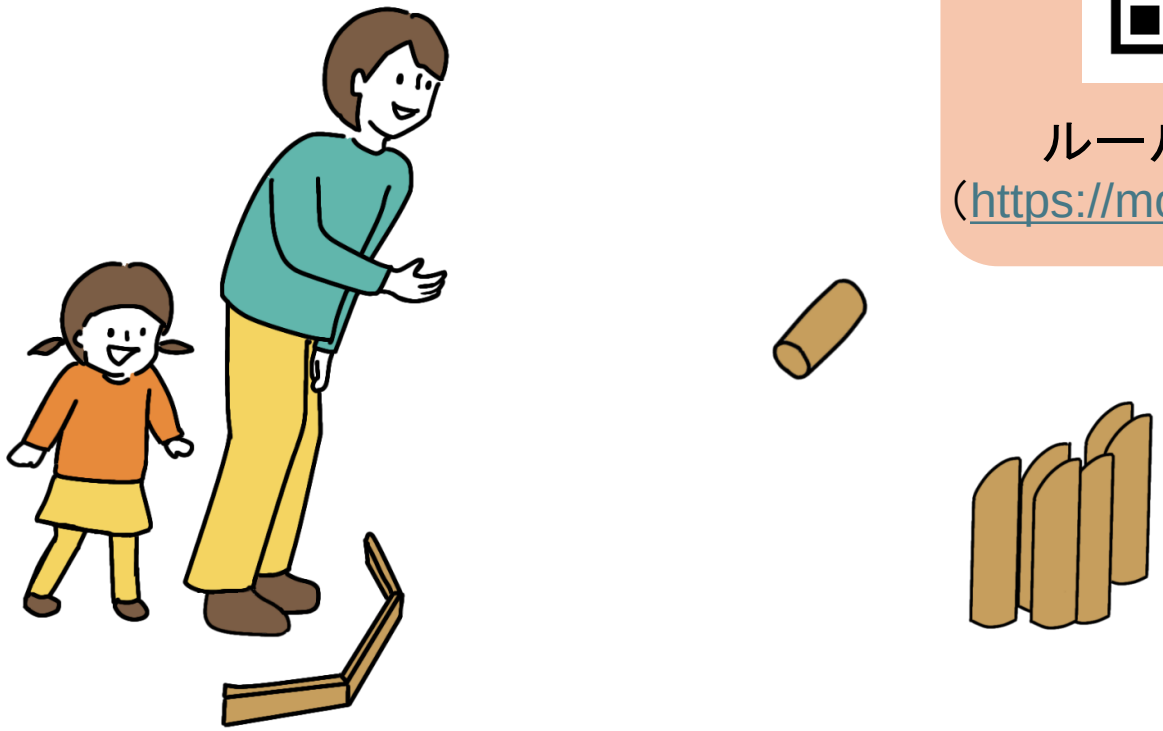
大学が交流の場に

イベント①
連携する法人先で実施

イベント②
鹿屋体育大学で実施

今回採用した種目：モルック

フィンランド発祥



ルールはこちら
（https://molkky.jp/molkky/）

投げる物・距離・勝敗の付け方など…
工夫のしやすさ

イベント①

目的：安全性と参加者の満足度の確認

連 携 先：社会福祉法人慶生会　LaPlus
鹿児島県鹿児島市

日　時　：2024年9月21日（土）

場　所　：LaPlus　室内運動場

LaPlusホームページ
(https://laplus-net.com/)

実施競技：モルック　※参加者の身体状況に応じてルール変更

参 加 者：30人程度（障がい者 15名、健常者 15名）小学生中心 6人5チーム
↑
放課後等デイサービスの利用者

運営スタッフ約20名（鹿屋スタッフ 7名、慶生会スタッフ 13名）

安全性 ○　参加者の満足度 ○

【イベントの様子】

イベント②

目的：イベントの需要、安全性、参加者の満足度の確認

連 携 先：社会福祉法人愛光会　各事業所
鹿児島県鹿屋市

日　時　：2024年2月2日（日）

場　所　：鹿屋体育大学SPORTECスポーツパフォーマンス研究センター

実施競技：モルック　※参加者の身体状況に応じてルール変更

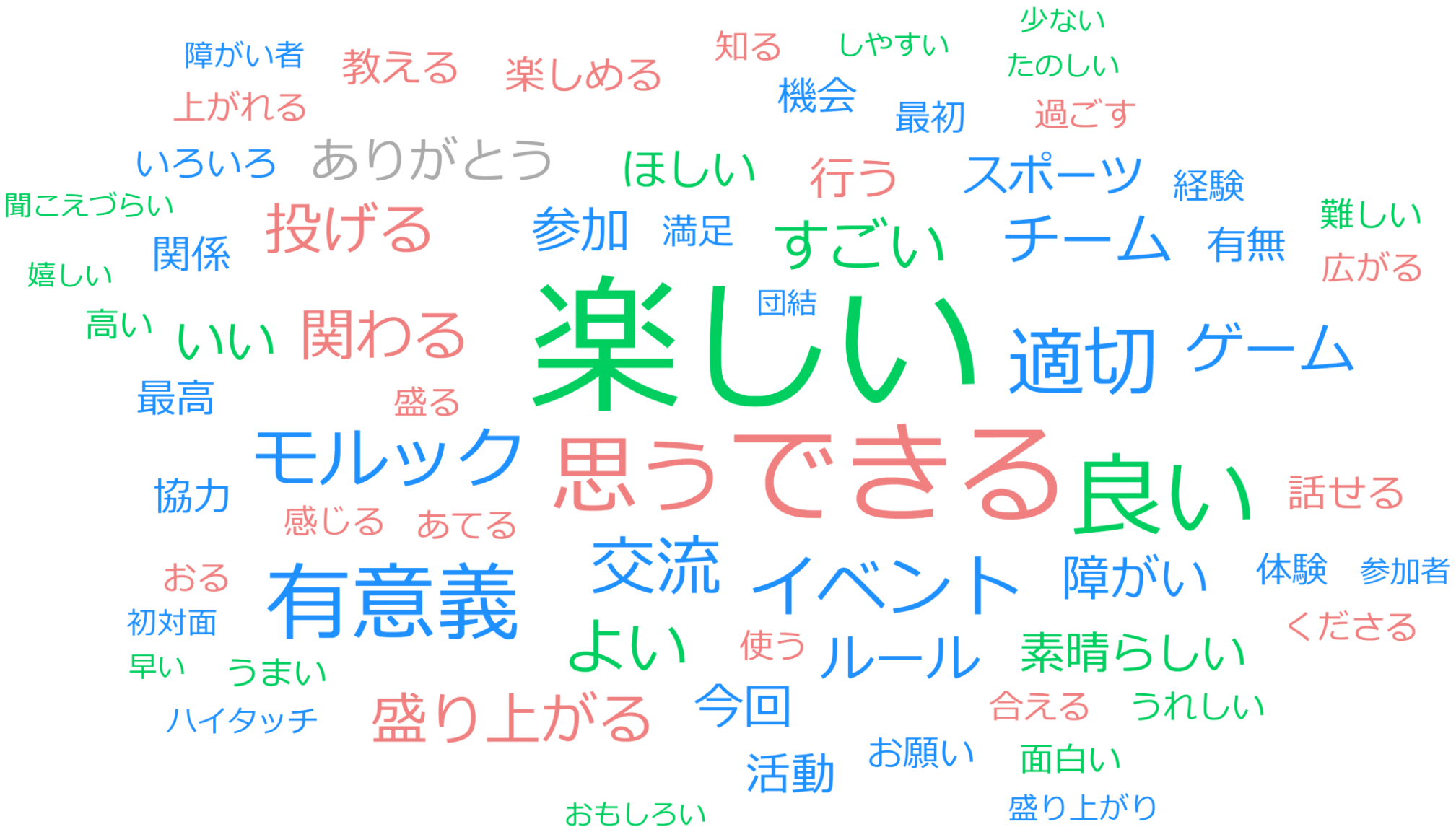
参 加 者：55人程度（障がい者 15名、健常者 15名、大学生 25名）7人7チーム

↑ 高齢者・小学生　↑ 高齢者・幼児

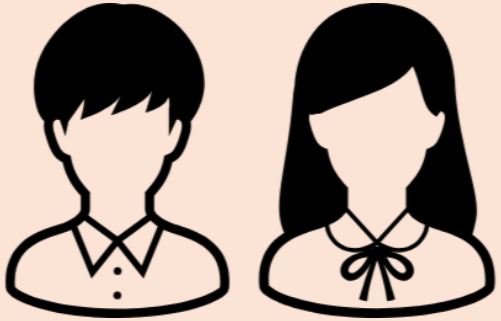
運営スタッフ約20名（鹿屋スタッフ 11名、愛光会スタッフ 9名）

需要 ◎　安全性 ○　参加者の満足度 ○

イベント②：アンケート結果



成果・波及効果



大学生

大学

✓イベント開催のハードル↓

✓スポーツの魅力を再確認

✓様々な人との交流機会

鹿屋市民

法人

✓運動・スポーツの実施↑

✓鹿屋体育大学の敷居↓

✓様々な人との交流機会

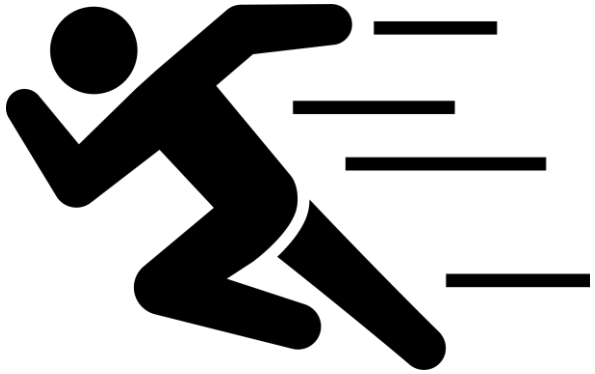
まとめ

2つのイベントを通して、、、

生涯スポーツの可能性

大学が実施する意義

準備の大変さ

今後は、、、

どう継続していくか